

福岡市交通局

新型車両「4000系」ローレル賞受賞記念イベント

1. はじめに

福岡市地下鉄空港線・箱崎線の新型車両「4000系」は、昨年4月の搬入以降、試験調整や試運転等を経て、11月に運行開始しました。

この度、鉄道友の会が賞する「2025年ローレル賞」を受賞しましたので、その内容をご紹介いたします。

2. ローレル賞とは

鉄道愛好者団体で組織される「鉄道友の会」が毎年1回、日本国内で営業運転を開始した新造および改造車両から選定するブルーリボン賞・ローレル賞のうち、選考委員会の審議により、車両性能、デザイン（外形・室内）、新造企画および運用面などの諸点において優秀と認められる車両を選定し、授与されるものです。

福岡市交通局は、過去にも空港線の1000系および七隈線の3000系がローレル賞を受賞しており、今回の4000系の受賞で合計3回目の受賞となりました。

3. 選定理由

4000系は、設計コンセプトを「一人ひとりにやさしい移動空間」とし、各号車に優先スペースを設けるほか、6号車には子連れの方や大きな手荷物をお持ちの方が利用しやすいフリースペースを設置しています。また、世界で初めて本格導入した同期リラクタンスマータやリンク式片軸操舵台車など新たな技術も積極的に採用しています。これらをふまえ、シンプルな機能美の中に、新たなデザイン・技術をバランスよく搭載し、乗客の快適性に最大限配慮した次世代の地下鉄車両として高く評価されました。

4. ローレル賞受賞式

10月19日に姪浜車両基地で受賞式を開催いたしました。式典には、鉄道友の会会長をはじめ、4000系の製作に携わった各メーカー関係者の方々にご出席いただきました。式ではローレル賞の特別装飾を施した車両のお披露目や祝辞・選考理由等をいただき、最後は関係者によるテープカットで華々しく締めくくられました。

5. おわりに

4000系は、2025年12月時点で計7編成が運行しています。今後、令和9年度にかけて、全18編成の導入を進めていく予定です。新しい車両の導入によって、福岡市の交通網がさらに進化し、より快適で便利な移動空間が実現することを期待しています。

